

埼玉佛教

平成23年7月 第187号

平成23年7月29日 発行
No.187

〒330-0063

さいたま市浦和区高砂4-13-18

財団法人 埼玉県佛教会

電話 (048) 861-2138

FAX (048) 864-6649

発行人 萩野 映明

http://saibutu.net

印刷所 関東図書株式会社



第33回埼玉県佛教徒大会（平成23年6月30日開催）

編集後記	20
事務局日誌	20
訃報	20
東松山・滑川仏教会主催 第17回仏教講演会	19
総務省・経済産業省よりお知らせ	19
東日本大震災義援金報告	16
定期総会・春季研修会	15
▼埼玉県佛教保育協会 平和の祈り	14
▼第14回埼玉宗連講演会	14
▼総会／第33回研修会	14
▼「埼玉同宗連」 ▼妻沼歓喜院慶讃法会	12
トピックス ▼飯能地区仏教会 奉詠大会	12
支部だより ▼（特別会計）	11
▼（一般会計）	10
正味財産増減計算書	9
財産目録・監査報告	8
平成22年度事業報告	7
出欠一覧	7
第1回理事会／評議員会	7
第33回埼玉県佛教徒大会 （岩槻）開催報告	2



第33回埼玉県佛教徒大会開催報告



平成23年6月30日(木)、第33回埼玉県佛教徒大会がさいたま市民会館いわつきを会場に東部地区仏教会が担当となり、岩槻支部の主管で開催された。今大会テーマは「いのちをみつめる」サブテーマ「生きてるっていいな」。本大会は、3月11日に発生した『東日本大震災』により開催期日が3月25日から延期となった。その後も余震が続く中、開催中止も懸念されたが、

会場の使用許可があり、予定通り開催する事が出来た。参加者は約500名。



今回は午後からの開催で入場無料という初の試み。日程が変更になったことと、未だに国内各地で余震が続いている状況下、来場者が大幅に減ることが予想されていたが開催当日は、朝か

ら晴天に恵まれ、早くから、大会参加者が来場。予定時刻を繰り上げて、冷房の効いたホール内でお待ちいただき、ほぼ満席の状態となった。

14時開演。まず、東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を祈り黙祷が捧げられた。続いて本会萩野映明会長を導師に記念法楽を厳修、来場者と共に三帰依文、般若心経をお唱えした。会長あいさつに続いて、全日本仏教会事務総長の戸松義晴氏から来賓祝辞をいただいた。



記念講演



講師に、高幡山明王院金剛寺(高幡不動尊)第33世貫主の川澄祐勝師(秩父皆野町出身)をお招きし、「命のかぎり」を演題として、ご講演いただいた。

以下講演内容抜粋

『自分は坊さんになりたくてなったわけではなく、腰かけ坊主でしたので今日に至るまでの経験談を交えてお話しします。ですから仏教やお釈迦様の素晴らしいお話は菩提寺のご住職や有名な先生から聞いて下さい』という語りから始まった。

秩父の皆野町で農家の次男坊に生まれ、終戦の時は14歳。多



くの規制が解除され、何でもやって良いことになり軟式テニスを始めたが、熱中しすぎて体を壊し8ヶ月間、寝たきり生活を余儀なくされた。その後、数年間は実家の農業を手伝う毎日。一念発起して法政大学の学生となり、東京で下宿したのが、叔母が嫁いでいた「弘法様のお灸」弘法寺である。この寺には後継者が居ないので、養女と結婚して跡取りになってくれないかと叔母から言われたが、私は経済を学んでいるのだから「お灸」はやらないよと答えると、

ただ就職資格だけ取ってくれば良いとのこと。卒業と同時に高幡山のお世話になったが、お世話して下さった方から3ヶ月間だけ行ってくればよい。その間に得度式だけはやってもらえらるるように高幡山にはお話をしている。だから、その後は普通の生活をしながら何年かかけて研修を受けて就職資格を取ればよいとのことだった。当時、高幡山では大卒は私だけ、事務屋としては使えるらしく、ありとあらゆる仕事を命じられたが、3ヶ月が過ぎ、半年経っても得度式はおろか何もしてくれない。1年経って得度式をしてももらえませんが、1年も経てば就職資格を貰う為にはどうしたら良いか位は解るので、もう少し辛抱するより仕方がないと考えた。加行などをすませて就職資格を得たのが、それから4年後。『俺は4年間も仏飯を食べてきた。もう坊主として生きていくしかない』と考え僧侶としての道を

選んだ。この事を父親に報告したところ『せっかく大学で経済を勉強したのに、坊さんになる必要があるのか?』と言われたが、意志の固いことを察した親父と『高望みするんじゃないぞ。』『わかつてるよ。』『わかつていればいい。』そんな会話をして以来、父親は私の僧侶生活に一切、口を出すことはなかった。人間覚悟が出来ると、よその目にも違って見えるらしく、浅草のある仏具店の社長から課長待遇の条件でスカウトされた。スカウトの理由を聞くと『仕事をしている時の眼の色が違うから。』とのこと。『師匠の許可がなければ返事は出来ません。』と答えた。暫くした或る朝、先代秋山大僧正から『今日から総務部長に任命する。』といわれた。当時15人近くいた僧侶の中でも下から3、4番目に居る私が、総務部長面をしたと



ころでうまくいくわけがないので誰にも話はしなかったが、ある時一番先輩の坊さんから『総務部長とは偉くなったな!』とどなられた。私は『今迄通りやりますから、どうぞ宜しくお願ひします。』と答えた。当時、高幡山に明確な給料制度はなく、外へ出て頂くお布施は行った僧侶自身の収入となっていた。総務部長である私にはかなりの指名が来たが、総務部長ともなると、来客も多く外出



はままならないので殆ど代理の僧侶に出してもらった。そんな姿が檀信徒の皆さんに私が注目される要因となったのかも知れません。

先代は大変物を大切にされる方でした。又先代からの命令は必ずその日のうちに答案を提出しなければならぬ。頭をしぼって答案を出すと『お前達が書いたものなんか全部直さなければならぬのだから、真っ白な紙に書くなんて何事だ！広告の裏にでも書いてこい！』と強い口調で叱られた。

又、昼の膳の上げ下げは小僧の役目ですが、お下げした師匠の膳には米一粒も残っていません。或る日のこと膳を下げに伺うと部屋中に白い煙がモウモウと立っていた。目をこらすと師匠が火鉢で秋刀魚の骨と頭を焼いている。師匠は怪訝な顔をしていた私に『おい！秋刀魚の骨は旨いぞ！喰うか！』と綺麗に焼き上がった骨を私にくださり、頭はご自分で食べられたが、その徹底ぶりに改めて感心した。然しさすがに9歳を超えると食が細くなってきた。大膳部の人達が師匠の好物を少しずつ何品も盛り付けてくれた。その膳を見て『豪勢だな！』と大変喜んでくれたが、高齢なので仲々全部は食べられない。来客があるので下げに行くと『馬鹿言うな！まだ残っているじゃないか！』と。数日後のこと『御前様、残りは私が夕飯のおかずになりますのでお下げしても宜しいですか。』と言うと、満面の笑

みを浮かべて『そうか！食べてくれるか！』と喜んでくれた。出されたものを粗末にはいけないと同時に、作ってくれた人への心遣いが9歳になってもできる方でした。

私は結婚して大学を出て僧侶の道に入ったので先代からはいつも中年坊主・秩父の土百姓の小倅とからかわれていた。或る時、檀家さんから私が即答出来ないような難しい質問をされたので『私はお寺の生まれでもなく、仏教大学出でもないの、こんな専門的な質問にはお答えできませんので師匠にお聞きしておきます。』と答えた。それを障子越しに先代が聞いていたのだらうか、以来中年坊主などとかからかわれることは無くなった。

高幡に入寺した頃、私は僧侶の資格だけいただけだと思っていたが、先代は『坊主を腰掛けに考えている者にうっかり資格を与えるととんでもない食

せ者の坊主になる』と考えていたようです。他の坊さんが2年程度で僧侶資格をいただくのに、私は4年。この間ことさら厳しくされたようで、年中叱られどおしだった。この事は仏教を知識として理解しようとしていた私に対する『仏教の教えは知識ではない智慧なのだ。本を読んでも良いお話をしたところで、それは知識の受け売りに過ぎない。本当の教えは体験に基づくものであり、絶えず体験に裏付けられた生活をしなければならぬ』。それがお釈迦様の教えだという先代流の警告だったと気が付いた。

またある時、私が高幡山のすべての便所のスリッパを揃えている事を耳にした先代は『そうか！仲々のくせ者だな！』と言われたとのこと。その瞬間、私は試されていると思った。くせ者と言われて、その日から止めたのでは、それこそ功名心でやっているのだと思われるので

の後も今まで通り続けた。この話を私の本で読まれた坊さんから『くせ者と言われて悔しくないのか?』と聞かれたが『くせ者とは、盗賊のような怪しい者のことも言うが、力のある者という意味もある。』と答えると、なるほどと納得してくれた。

先代から誉められた記憶は少ないが『くせ者』という表現を使って逆説的な誉め方をしたことが先代の教え方なのだろうと思った。実に多くの経験を通して「物事は発想の転換が大切で前向きにとらえることが大切」ということを学んだ。また秋山大僧正は「叱りがいいのいい人は、絶対に叱らない」叱ってもらえる様な人間に成長することが大切であるといつも話していた。

川澄先生は現在の生活を考え、365日休みがないのではなく、365日使ってもらえることがありがたい。物事を前向きに考える。お仕事を楽しんでやる。

嫌々やっていたのでは365日務まるはずがない。1年中…いのかきり仕事を楽しみ、少しでも人のためになるようなもの考え方をしていきます。これが人生を楽しく過ごす秘訣であると語り、最後にフォードの『20歳でも80歳でも、学ぶことを忘れた人間を年寄りと呼ぶ』という言葉を借りて、学ぶことを忘れないように命の限り頑張っていきますと締めくくった。

記念公演・インド舞踊

川澄祐勝師の公演に続き、アトラクションとして、インド舞踊が披露された。講師は「ブライナ」インド古典舞踊研究会を主宰する里見まこ先生が率いる7人。午前中から会場入りしてリハーサルを重ねていた。この公演はさいたま市の延命寺住職である河野亮仙師の紹介で実現した。

演目はまず、舞台を浄めるガ



ネーシャ神を讃える曲から始まった。像の頭を持つ太鼓腹のガネーシャ神は、富と繁栄をもたらし、智慧と学問の神でもあり、その上、障害を除去し成功をもたらすという神様。インドでも人気のある大衆神ガネーシャは密教と共に日本にも渡来して聖天、歓喜院として知られている。豊かな表現と、両膝をひし形に開いた中腰の姿勢から踊り出される、リズムカルで力強いフットワークが特徴。左右対称





インド舞踊・里見まこ先生

の幾何学的な踊りは陰陽のバランスをとり、瞑想の形の一つといわれている。動の中に静、静の中に動が存在するパラタナテイヤムは日本の伝統芸能に共通するものがある。

演目は5曲。途中里見先生による内容の解説がなされた。5曲目の「ティラーナ」は里見まこさんが師事したウマ・スンダラム先生の遺作で、数ある演目の中でも珍しい9分にもおよぶ作品。最後にアンコールに呼んで里見先生がソロで因幡の白ウサギを演じた。

閉会行事

今大会で大会実行委員長を務めた上村正剛師の提案で、閉会行事において次期開催地への佛旗・法輪旗バトンタッチが行われた。次期開催地は、西部地区佛教会が担当となり、入間東部支部ならびに所沢支部の主管で開催される。所沢支部長の荒泉盛憲師から次期開催候補地としての意気込みが語られた。

最後に、上村正剛大会実行委員長から、第33回埼玉県佛教徒



大会実行委員長・上村正剛師

大会が盛会裡に開催出来たことの謝辞が述べられ、「人間として生を受けたことが本当に不思議なこと。改めて父と母、ご先祖様のお蔭を再確認する時に、生きてるっていいなということが見える」と語り、「生きる喜びの中で、長生きしましょう」と呼びかけ、岩槻大会は幕を閉じた。

第63回埼玉県各流讚佛歌奉詠大会

【埼玉県佛教会主催】

日時 平成23年9月13日(火)
9:10 開場 9:40 開会
会場 埼玉会館・大ホール
(さいたま市浦和区高砂3-1-4)

※全座席指定。
ご観覧ご希望の方は事前にお申し込みください。
県佛・奉詠大会係(電話048-861-2138)

お寺の事務運営の
ことなら...

- 法定備付書類・帳簿作成
- 所轄官庁への書類提出代行
- お寺の事務運営代行一切

ミヤモト国際法務事務所

〈代表〉行政書士 宮本重則

03-6902-1024

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-1

Eメール miyamotolegal@hotmail.co.jp

● 平成22年度 事業報告 ●

平成22年 4月1日～平成23年 3月31日

平成22年 ↓団体…【全】全日本仏教会【同】「埼玉同宗連」【宗】埼玉県宗教連盟

期 日	団 体	事 業 内 容	会 場
4月12日	【宗】	第1回埼玉県宗教連盟理事会	埼玉会館
14日	【同】	第1回「埼玉同宗連」役員会／第1回「埼玉同宗連」総会	埼玉会館
23日	【同】	第3回人権啓発デジタル資料作成委員会 機関紙『埼玉佛教』第182号発行	
5月11日		第1回執行部会	埼玉会館
16日	【同】	第5回人権啓発デジタル資料作成委員会	埼玉会館
20日		会計監査	埼玉会館
26日		第1回理事会／第1回評議員会	埼玉会館
30日		第6回公益法人制度改革移行方針検討委員会	埼玉会館
6月7日	【全】	全日本仏教会 総務財政審議会	明照会館（港区芝公園）
9日	【同】	第2回「埼玉同宗連」役員会 第31回「埼玉同宗連」研修会 演題『人の世に熱と光を』／講師：清原隆宣氏（奈良県西光寺副住職・浄土真宗本願寺派）	埼玉会館
12日	【宗】	第13回埼玉宗連講演会 演題『人生の後半戦を豊かに生きる』／講師：藤掛明氏（聖学院大学准教授）	天理教埼玉教務支庁
16日	【同】	第2回人権啓発デジタル資料作成委員会	埼玉会館
7月20日	【宗】	埼玉連「平和の祈り」	川越カトリック教会
30日		機関紙『埼玉佛教』第183号発行	
8月23日		臨時教化委員会（奉詠大会合同打合せ会議）	埼玉会館
25日		岩槻支部三役会議『県佛大会打合せ』	岩槻区
9月3日		第7回公益法人制度改革移行方針検討委員会	埼玉会館
8日		岩槻支部会議『県佛大会打合せ』	市民会館いわつき
9日		第62回埼玉県各流讃佛歌奉詠大会	埼玉会館大ホール
13日	【宗】	埼玉連研修旅行（～14日）	京都・奈良（平城遷都1300年記念）
15日		第2回執行部会	埼玉会館
16日	【全】	全日本仏教会 第3回理事会／第2回評議員会・参与会	東京グランドホテル
27日		第2回作業部会（公益法人制度改革移行方針検討委員会）	埼玉会館
10月8日		第1回県佛大会実行委員会	市民会館いわつき
13日	【同】	「埼玉同宗連」東松山現地学習会 演題『武州鼻緒騒動について』／講師：藤田源市氏（部落解放同盟埼玉県連合会研究部長）	高坂丘陵市民活動センター・岩殿観音
20日		機関紙『埼玉佛教』第184号発行	
27日		第3回作業部会（公益法人制度改革移行方針検討委員会）	埼玉会館
11月4日	【同】	第6回人権啓発資料作成委員会 （改称：人権啓発デジタル資料作成委員会）	埼玉会館
9日	【全】	第2回県佛大会実行委員会 第41回全日本仏教徒会議栃木大会（～10日） 全日本仏教会 第1回加盟団体代表者会議	市民会館いわつき 宇都宮グランドホテル
17日		第8回公益法人制度改革移行方針検討委員会 第3回埼玉佛文化講座「精進料理ノススメ・其の式」 演題：『精進料理に親しむ』／講師：白澤雪俊師（曹洞宗普門院住職・弘前市）	埼玉会館
24日	【同】	第3回「埼玉同宗連」役員会 第32回「埼玉同宗連」研修会 演題『こころのパリアフリー』／講師：竹内政治氏（埼玉県精神障害者団体連合会事務局長）	埼玉会館
12月8日		第3回県佛大会実行委員会	市民会館いわつき

平成23年

期 日	団 体	事 業 内 容	会 場
1月7日	【同】	機関紙『埼玉佛教』第185号発行 部落解放同盟埼玉県連合会2011旗開き	熊谷ガーデンパレス
13日		第4回県佛大会実行委員会	市民会館いわつき
17日		第1回臨時理事会／第1回臨時評議員会 新年懇親会	埼玉会館
20日	【全】	全日本仏教会 第5回理事会・評議員会・参与会新年懇親会	プリンスパークタワー東京
21日	【宗】	埼玉連新年懇親会	うらわ高砂
31日	【同】	第4回作業部会（公益法人制度改革移行方針検討委員会） 第4回「埼玉同宗連」役員会／新年懇親会	埼玉会館 伊勢丹パンケット
2月9日	【宗】	宗教法人研修会（学事課・埼玉県宗教連盟主催）	川越地方庁舎
10日	【宗】	宗教法人研修会（学事課・埼玉県宗教連盟主催）	埼玉会館
15日		西部地区支部長会	埼玉会館
18日		第5回県佛大会実行委員会	市民会館いわつき
24日	【同】	第7回人権啓発資料作成委員会	埼玉会館
3月7日		教化委員会／総務委員会 南部地区支部長会	埼玉会館
8日		財務委員会／組織委員会	埼玉会館
16日		第5回県佛大会実行委員会	弥勒密寺（岩槻区）
24日		第3回執行部会	埼玉会館
29日		第9回公益法人制度改革移行方針検討委員会 第2回理事会／第2回評議員会	埼玉会館

■埼玉県佛教会ホームページ随時更新 [http://www.saibutu.net]

■高齢者交通事故防止対策推進ならびに振り込め詐欺等の対策（埼玉県警と協力）

● 財 産 目 録 ●

平成23年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債および正味財産の部	
1 流動資産	[8,254,114]	1 負債の部	
(1) 現金	(541,200)	1. 流動負債	[1,792,746]
ア 一般	346,923	(1) 預り金	721,080
イ 特別 (収益)	194,277	(2) 前受金	439,926
		(3) 未払金	181,440
(2) 普通預金、貯金	(7,508,273)	(4) 未払法人税等	70,000
ア 武蔵野銀行 (一般)	4,426,464	(5) 未払消費税等	380,300
イ 武蔵野銀行 (特別)	1,900,094		
ウ 埼玉りそな (特別)	1,065,225	2. 固定負債	[2,300,000]
エ 郵便貯金	1,900	(1) 預り敷金	2,300,000
キ 郵便振替 (一般)	114,590		
(3) 未収入金	(204,641)		
2 固定資産	[389,447,292]		
(1) 基本財産	(338,902,423)		
ア 土地	125,623,575		
イ 建物	226,787,941		
ウ 減価償却累計額	△ 17,009,093		
エ 定額貯金(ゆうちょ銀行)	3,500,000		
(2) 有形固定資産	(47,996,627)		
ア 建物	3,730,189		
イ 付属設備	67,923,450		
ウ 構築物	13,027,213		
エ 什器備品	9,221,576		
オ 減価償却累計額	△ 45,905,801		
(3) 無形固定資産	(228,750)		
電話加入権	228,750		
(4) 定期預金	(2,319,492)		
埼玉県信用金庫	2,319,492		
資産の部合計	397,701,406	負債の部合計	4,092,746
		2 正味財産の部	
		正味財産	393,608,660
		(うち基本金)	(338,902,423)
		正味財産の部合計	393,608,660
		負債および正味財産の部合計	397,701,406

● 監 査 報 告 書 ●

財団法人埼玉県佛教会 定款第12条の規定により、平成23年5月16日埼玉県佛教会事務局において平成22年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書、付属明細書、関連諸帳簿、証憑書類等の提示を求め、財産並びに理事の業務執行状況について所定の監査を実施しました。

その結果、その財源その用途及び当該年度末における財政状態が適正に表示されており、また理事の業務執行状況についても適正に行われ、それらは合法かつ正確であると認めました。

よって財団法人埼玉県佛教会定款第19条の定めるところにより、ここに報告いたします。

平成23年5月25日

監事 吉田 淳一 ㊟
 監事 井倉 賢照 ㊟
 監事 河野 亮仙 ㊟

● 正味財産増減計算書（一般会計） ●

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

（単位：円）

科目	22年度	21年度	増減	備考
I. 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
ア 埼玉佛会費	13,213,000	13,160,000	53,000	@8,000（うち過年度分32,000円）
イ 事業収入	3,131,250	5,256,000	△ 2,124,750	
奉詠大会費	0	2,109,000	△ 2,109,000	灯明料@2,000×952名、広告料16万円、祝儀45,000円(21年度)
佛教徒募金	3,131,250	3,147,000	△ 15,750	
ウ 特別会計繰入金	5,134,525	1,832,367	3,302,158	特別会計「寄付金」より
エ 基本金利息	2,637	37,074	△ 34,437	
オ 雑収入	0	157,126	△ 157,126	代理店手数料（第一生命、アフラック）他
カ 賛助金	395,600	221,000	174,600	灯明料、年賀広告12万円
キ 事務受託収入	1,500,000	1,500,000	0	埼玉連、佛保、「埼玉同宗連」
ク 会館建設特別会計	0	405,000	△ 405,000	宮代（青林寺、寶生院、遍照院）寄付
経常収益計	23,377,012	22,568,567	808,445	
(2) 経常費用				
ア 事業費	2,784,207	5,960,877	△ 3,176,670	
※ 奉詠大会費	455,898	2,433,160	△ 1,977,262	9月9日第62回大会 埼玉会館
※ 県佛大会補助	0	1,000,000	△ 1,000,000	23年6月30日予定 第33回市民会館いわつき（震災による延期）
支部助成金	210,000	210,000	0	支部講演会、支部行事、1行事@3万(年1回限り)
広報費	1,228,708	1,397,000	△ 168,292	機関紙「埼玉佛教」4回発行、ホームページ、関連団体広告
研修・交流費	399,601	460,717	△ 61,116	全仏等関連団体研修参加、埼玉佛教文化講座
育成費	490,000	460,000	30,000	佛青、佛保、佛婦
イ 運営費	21,932,163	22,038,842	△ 106,679	
給料・手当	5,089,190	3,975,000	1,114,190	3名分 *
退職金	0	1,123,582	△ 1,123,582	*
管理費	842,293		842,293	埼玉佛会館管理 *
顧問料	380,000		380,000	税理士顧問料 *
報酬・賃金	64,650	217,000	△ 152,350	アルバイト賃金、残業手当等 *
租税公課	2,560,300	2,500,000	60,300	固定資産税 *
保険料	328,368	134,934	193,434	火災保険、傷害保険、あんしん財団 *
福利厚生費	47,011	136,515	△ 89,504	コーヒー、お茶 *
旅費	548,275	626,180	△ 77,905	職員旅費 *
会議費	485,750	564,037	△ 78,287	理事、評議員会諸費用 *
報償費・旅費	929,900	1,086,400	△ 156,500	役員旅費 *
光熱水費	1,014,582	1,169,363	△ 154,781	電気、ガス、水道 *
印刷費	192,606	157,310	35,296	名刺、封筒他 *
書籍費	108,080	118,005	△ 9,925	新聞雑誌購読料、書籍購入費 *
消耗品費	544,575	600,688	△ 56,113	コピー用紙、文具 *
通信費	761,799	724,825	36,974	電話、郵便料、運賃、振込料、インターネット *
貸借料	829,920	852,180	△ 22,260	事務機器リース料、印刷機保守契約料 *
交際費	19,221	34,583	△ 15,362	*
中退共掛金	166,500	185,834	△ 19,334	職員退職金積立 *
減価償却費	6,545,706	7,352,021	△ 806,315	*
慶弔費	445,000	320,000	125,000	
雑費	28,437	160,385	△ 131,948	送金料、残高証明、理事変更登記 *
ウ 負担金等	3,997,600	3,995,600	2,000	
全仏負担金	650,000	650,000	0	
埼玉県宗教連盟	350,000	350,000	0	
埼玉同宗連	60,000	60,000	0	
支部交付金	1,237,600	1,235,600	2,000	佛教徒募金収入の4割還付
埼玉県教誨師会	100,000	100,000	0	
更生保護法人「清心寮」	300,000	300,000	0	
歳末助け合い	600,000	600,000	0	共同募金会（うち「清心寮」へ50万円を指定寄付）
善意銀行	600,000	600,000	0	埼玉佛会基金積立
全国青少年教化協議会	100,000	100,000	0	
経常費用計	28,713,970	31,995,319	△ 3,281,349	
当期経常増減額	△ 5,336,958	△ 9,426,752	4,089,794	
当期一般正味財産増減額	0	865,200	△ 865,200	
資産の受入	0	865,200	△ 865,200	
当期一般正味財産増減額	△ 5,336,958	△ 8,602,309	3,265,351	
特別会計(収益)減価償却	△ 7,405,561	△ 8,602,309	1,196,748	
当期一般正味財産増減額	△ 12,742,519	△ 17,163,861	4,421,342	
一般正味財産期首残高	406,415,148	423,579,009	△ 17,163,861	
一般正味財産期末残高	393,672,629	406,415,148	△ 12,742,519	

*印は一般会計と特別会計に按分している科目

● 正味財産増減計算書（特別） ●

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位：円)

科目	22年度	21年度	増 減	備 考
I. 正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
貸 事 務 所	8,724,400	8,354,400	370,000	埼玉ワンダー社、河合楽器、浄土宗、全日、タカマツ、緑化計画
駐 車 場	4,361,200	2,400,400	1,960,800	
施 設 利 用 料	676,500	570,000	106,500	会議室貸出分
雑 収 入	262,549	36,219	226,330	代理店手数料（第一生命、アフラック）他、預金利息
経 常 収 益 計	14,024,649	11,361,019	2,663,630	
(2) 経常費用				
給 与 ・ 手 当	1,360,755	4,045,300	△ 2,684,545	3名分 *
顧 問 料	300,000	595,000	△ 295,000	税理士顧問料 *
管 理 費	1,190,478	1,177,918	12,560	全日管理、ゴミ手数料、モップ交換他 *
福 利 厚 生 費	40,000	104,404	△ 64,404	常備薬、飲物代 *
光 熱 水 費	434,822	113,260	321,562	電気、水道、ガス *
消 耗 品 費	28,662	83,638	△ 54,976	文具、チャージ料 *
電 話 ・ 郵 便 料	40,094	155,277	△ 115,183	電話、インターネット *
賃 借 料	43,680	156,870	△ 113,190	事務機器リース料 *
交 際 費	10,250	28,742	△ 18,492	*
保 険 料	192,000	192,984	△ 984	火災保険、職員保険 *
雑 費	14,218	38,958	△ 24,740	残高証明、送金手数料 *
備 品 ・ 修 理 費	37,000	881,181	△ 844,181	多目的ホール・演台ステップ階段作成
中 退 共 掛 金	13,500	92,916	△ 79,416	職員退職積立 *
減 価 償 却 費	7,405,561	8,602,309	△ 1,196,748	*
租 税 公 課	2,810,100	2,499,900	310,200	固定資産税、消費税 *
寄 附 金	5,134,525	1,832,367	3,302,158	一般会計「特別会計繰入金」へ
経 常 費 用 計	19,055,645	20,601,024	△ 1,545,379	
当 期 経 常 増 減 額	△ 5,030,996	△ 9,240,005	4,209,009	
2 経常外増減の部				
法 人 税 住 民 税	△ 70,000	△ 70,000	0	
当 期 経 常 外 増 減 額	△ 70,000	△ 70,000	0	
当 期 特 別 正 味 財 産 増 減 額	△ 5,100,996	△ 9,310,005	4,209,009	
減 価 償 却 額	7,405,561	8,602,309	△ 1,196,748	
特 別 正 味 財 産 期 首 残 高	△ 2,368,534	△ 1,660,838	△ 707,696	
特 別 正 味 財 産 期 末 残 高	△ 63,969	△ 2,368,534	2,304,565	

*印は、一般会計と特別会計に按分している科目です。

支部だより

飯能地区仏教会

「第26回各流讃佛歌奉詠大会」

▼平成23年6月23日(木)、飯能地区仏教会(会長澁谷満行師・靈巖寺)では、飯能市民会館を会場に第26回各流讃佛歌奉詠大会を開催いたしました。

これは毎年この時期に飯能市、日高市、入間市、狭山市、毛呂山町の各講の皆様にご参加いただき御詠歌の奉詠を行っているものです。今回の参加講は曹洞宗梅花流から龍泉寺、廣渡寺、楞巖寺、法光寺、慈眼寺、寶蔵寺。臨済宗鎌倉流から金錫寺。天台宗叡山流から松福院、満願寺。真言宗智山派密巖流から明光寺の合計10講となりました。

当日は午前9時に飯能地区仏教会の各御寺院の僧侶により受付、看板設置等の準備が始まり、10時30分より開会式がおこなわ

れました。開会式の後、プログラム順に各講員による御詠歌の奉詠がおこなわれました。昼食をはさみ、午後1時より各寺院御住職と寺族方がステージに上がり、法要がおこなわれました。法要では過去1年間に物故者となられた方々と3月11日の東日本大震災で犠牲となられた有縁無縁の精霊に対する御供養も併せておこなわれました。法要の後、午後の部がおこなわれ、午後2時30分頃に全てのお唱えが終了し、法光寺東堂、大野文雄老師による講評と参加各講への感謝状贈呈がおこなわれ、無事閉式となりました。当日は猛暑と節電対策により暑さ厳しい中での開催となりましたが参加された方々は一生懸命に日頃の練習の成果を披露しておられました。また、飯能地区仏教会の各御寺院の皆様が大汗をかきながら大会の準備、運営をお手伝いしてくださいました、御蔭さまで事故もなく無事に大会が終え

ることができましたが、これも参加された各講員の皆様、御寺院方様のお陰と思っております。ご協力いただきました皆様方には心より感謝申し上げます。

(報告・飯能地区仏教会事務局
・児玉哲雄・大光寺(智山))



トピックス

●「聖天堂」保存修理竣功

慶讃報恩法会

▼平成23年6月16日(木)、熊谷市妻沼の聖天山歡喜院(院長鈴木英全師・高野山真言宗)にて、本殿「聖天堂」の保存修理竣功慶讃報恩法会が厳修された。



当日は、真言宗各派、曹洞宗など超宗派の僧侶が大勢集まった。法会は金剛殿から本殿前の石舞台への進列から始まった。鈴木院主の挨拶に続き、来賓を代表して、本会萩野映明会長が祝辞を述べた。その後、聖天堂



に入堂し、副院主・鈴木英秀師が叩く太鼓の音と共に超宗派僧侶が唱える観音経、般若心経の声が堂内に響き渡った。鈴木英全院主は、これだけの数の超宗派僧侶による読経は今回が最初で最後だろうと語った。

歡喜院本殿は、調査開始から7年余りの歳月をかけた「平成の大修理」を終え、6月1日から一般公開が始まった。極彩色によるみがえった彫刻は、聖天堂を埋め尽くし、雷神や竜、鳳凰などの守護霊獣たち。リスや猿、鹿など実在の動物も登場する。

布袋様と恵比寿様が碁を打つ場面を表現したものもあった。ポランティアガイドによる説明に耳を傾けながら、物語を考えてみるのも鑑賞の楽しみ方の一つである。



彫られた様々な鳥獣は、躍動感に溢れ、実に生き生きとしており、その豪華絢爛な彫刻は、見る者を飽きさせない。日光東照宮の修復に関わった絵師や彫物師達が聖天堂の建設をも手がけたことから、『埼玉日光』と呼ばれる所以である。

江戸時代の職人達が競い合うかのように、自分の持っている

技術を存分に發揮して完成させた匠の技の集大成。彼らが手がけた装飾彩色を上から塗りつぶしたのでは造営当時の色が永遠に失われてしまう。極力現状のまま保存するか、当時の極彩色をよみがえらせる復元かという大問題が立ち上がった。

しかしながら、掛け軸の裏に薄い和紙を張って補強する「増し裏」の技法を応用して、わずかに残されたオリジナルの色彩の上から和紙を張り、その上から彩色を復元するという新技法



によって、江戸の技術の保存と外観の復元という相反する考えの両立が実現したという。



本殿「聖天堂」

聖天堂に本尊としてお祀りされている御正躰錫杖頭は、秘仏とされ、布が巻かれた状態で厨子の中に納められているとのこと。その状態の写真が掲載された本もあるし、不定期ではあるが一般公開もされている。真のお姿は歴代の住職のみが知るところであり、『私がここに来てから数年が経つが、秘仏のお姿を見たことがなければ、どこに安置されているのかさえ知らされていない。』後日、副住職の鈴木

英秀さんは語った。次の本尊一般公開はいつであろうか。

● 『総会・研修会』

埼玉同宗連

平成23年6月9日(木)、第23回総会が開催され、各教宗派から代議員を含めて29名が参加。任期満了により藤井壽雄師が退任し、佐々木康雄師(川口市・照見寺・真宗大谷派)が第13代議長として互選され、承認された。



総会終了後、第33回「埼玉同宗連」研修会が埼玉会館にて開催された。参加者は約80名。講師は秩父市皆野町で手作り木工家具作家のダニー・ネフセタイ



さん。演題は「平和への願い」「原発危機」「TUNAMI被災地へ行って」いずれも『私達は平和を本当に望んでいますか？平和を信じていますか？教育と固定観念によって、大事な事を見逃していませんか？』という問題提起のもと写真を見ながらプレゼン形式で進められた。講演は、ダニーさんの生まれ育ったイスラエルの話から始まり、今まで歩んだ道、家作り、家具作り、現在の活動など簡単

な紹介をしてから、自分の目に映った日本、日本人をイスラエル人視点から平和、戦争、教育、固定観念について講演。今回は90分という限られた時間にもかかわらず3つのテーマが凝縮された話であった。

● 『第14回埼玉宗連講演会』

埼玉県宗連

平成23年6月13日(月)、埼玉県宗連盟主催の「14回埼玉宗連講演会」が天理教埼玉教務支庁(さいたま市北区)を会場に開催された。開会行事で、今年度から理事長に就任した林總太郎氏(立正佼成会)が主催者挨拶をした。

講演会には、各教宗派から合わせて約80名の参加があった。講師は、天理教日帝分教会長(東京都)で弁護士の羽成守先生。『現代における天理教の「おたすけ」〜心の病は心から 事情

の元も心から』を演題に三大トラブルとされるサラ金、離婚、遺産相続を中心に90分の講演となった。

● 『平和の祈り』



平成23年7月2日(土)、埼玉県宗連盟(林總太郎理事長)が例年、この時期に主催している『平和の祈り』が今年も川越カ

トリック教会を会場に開催された。宗教者による祈りの前に参加者全員で東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし黙祷が捧げられた。『平和の祈り』は宗教に携わる者が宗教・宗派を越えて、一同に会し、世界の平和の祈りを捧げ、平和の実現を共に願うというものである。また、今年度は東日本大震災被災地の早期復興を併せて祈願した。今年度は、埼玉県佛教会（会長・萩野映明師、専務理事・深谷雅良師、玉寶寺住職・黒田雪雄師（飯能）、禅龍寺副住職・岡本勇樹師（狭山）ほか4名）、埼玉県佛教青年会、天理教、新宗連埼玉（松緑神道大和山、真生会、解脱会）、カトリック教会、埼玉県神社庁、埼玉県神道青年会、立正佼成会三郷教会、日本基督教団より約70名の参加があった。

● 『定期総会・春季研修会』
埼玉県佛教保育協会

平成23年6月1日（水）、平成23年度定期総会が埼玉佛会館を会場に開催され、平成17年6月から3期にわたって会長を務めてきた丹羽尊照師が退任し、互選により、あずま幼稚園の丹羽義昭師（草加・西願寺・浄土）が新会長に就任した。

定期総会に続き「春季研修会」が全国青少年教化協議会の協力のもと開催された。各園から合計30名の先生が参加。講師は、精神科医の水島弘子先生。『子育てのための親育て』を演題に60分間ご講演いただいた。また緊急ミニ講座「震災トラウマの対処法」を併せて実施。東日本大震災等で大きなトラウマを負ってしまった子ども達への対応の仕方についてもお話いただいた。

H23年上半期中の神社・寺院を狙った事件から!!

○ さい銭の盗難事件

上半期中、県内の神社、寺院におけるさい銭の盗難被害は93件発生しています。その主な手口としては、

- ・ さい銭箱をその場でひっくり返して現金を盗む
- ・ さい銭箱の錠部分を壊して引き出し内の現金を盗む
- ・ 軽量のさい銭箱自体を持ち出して盗む

等があり、神社においては、木箱入りのおみくじ（お金を入れるタイプ）

が盗まれ、寺院では、線香用の現金が入った集金箱が盗まれる被害も発生しております。

これらの防犯対策として、人の目が届くところに設置することはもちろん、

- ☆ 現金は小まめに回収し、常時回収している旨の張り紙を掲示する
- ☆ 防犯カメラを設置し、カメラを設置している旨の張り紙を掲示する
- ☆ さい銭箱等は容易に動かせない様に床などに固定する

なども効果的です。



被害防止に向けた自主防犯対策をお願いします。

- 防犯カメラ、防犯灯等の設置、点検をお願い致します。
- 境内の点検・防犯設備の充実をご検討下さい。
- 周辺で不審な者（車）を見かけた際には110番通報願います。

平成23年4月1日（金）から『東日本大震災義援金』の募集した結果、7月18日までに

合計 9,946,213 円

が集まった。

平成23年7月19日（火）、第2回執行部会を開催し、『東日本大震災義援金』の報告について協議の結果【支部名・寺院名・金額】を報告することと、送金先について、被災地で被災者の受け入れ救援活動を行っている寺院へお送りする事等が決定された。

送金先の詳細は紙面の都合上、次号にて報告する。

東日本大震災義援金報告

〔支部名・寺院名・募金額〕
※敬称略

・川口 川口仏教会	50,000円
・密蔵院	50,000円
・藤・戸田 ・三学院	100,000円
・海禅寺	50,000円
・妙厳寺	50,000円
・妙顕寺	30,000円
・平等寺	30,000円
・多福院	20,000円
・三蔵院	20,000円
・宝樹院	10,000円
・長泉院	10,000円
・徳祥寺	10,000円
・慈眼寺	10,000円
・光明寺	10,000円
・正覚院	10,000円
・浦和 ・吉祥寺	100,000円
・真弘寺	82,000円
・延命寺	60,000円
・真福寺	50,000円
・一乗院	30,000円
・大松院	30,000円
・守光院	30,000円
・正樹院	30,000円
・成就院	20,000円
・福寿寺	20,000円
・円蔵寺	20,000円
・宝性寺	20,000円

・東泉寺	10,000円
・和光院	10,000円
・薬王院	10,000円
・真乗寺	10,000円
・林鐘寺	10,000円
・東泉寺	10,000円
・金剛寺	10,000円
・寶泉寺	10,000円
・総持院	10,000円
・医王寺	5,000円
・報恩寺	5,000円
・与野 ・妙行寺	500,000円
・上尾 ・上尾仏教会	480,000円
・日乘院	30,000円
・密蔵院	30,000円
・西光寺	10,000円
・十連寺	10,000円
・龍山院	10,000円
・小林寺	10,000円
・放光院	10,000円
・龍真寺	10,000円
・伊奈 ・伊奈町仏教会	50,000円
・法光寺	20,000円
・願成寺	20,000円
・無量寺	10,000円
・清光寺	10,000円
・鴻巣 ・鴻巣市仏教会	500,000円
・龍昌寺	300,000円

・勝願寺	30,000円
・吹上 ・宝積院	10,000円
・入間 ・東光寺	30,000円
・入間東部 ・入間東部仏教会	100,000円
・大應寺	100,000円
・所沢 ・東福寺護持会	600,000円
・所沢支部	320,000円
・持明院	100,000円
・普門院	100,000円
・薬王寺	50,000円
・松林寺	42,300円
・密蔵院	10,000円
・東光寺	10,000円
・飯能 ・能仁寺	200,000円
・秀常寺	50,000円
・長松寺	30,000円
・飯能地区仏教会奉詠大会募金	28,230円
・常円寺	20,000円
・靈巖寺	10,000円
・谷雲寺	10,000円
・長泉寺	10,000円
・福蔵院	10,000円
・永昌寺	10,000円
・智観寺	10,000円

寄居

・ 寄居支部	100,000円
・ 西念寺	30,000円
・ 不動寺	30,000円
・ 実聞寺	10,000円
・ 寿楽院	10,000円
・ 長善寺	10,000円
・ 蓮光寺	10,000円
・ 浄福寺	10,000円
・ 善導寺	10,000円
・ 應正寺	5,000円
・ 龍源寺	5,000円

妻沼

・ 長昌寺	30,000円
・ 圓満寺	11,057円
・ 宝蔵院	10,000円
・ 正蔵寺	10,000円
・ 能護寺	10,000円
・ 阿弥陀寺	10,000円
・ 無量寺	5,000円

行田

・ 長久寺	30,000円
・ 真観寺	10,000円
・ 真福寺	10,000円
・ 常光寺	10,000円
・ 盛徳寺	10,000円
・ 東福寺	10,000円
・ 照岩寺	10,000円
・ 成正寺	10,000円
・ 蓮華寺	10,000円
・ 遍性寺	5,000円
・ 宝蔵寺	3,000円

加須

・ 龍興寺	50,000円
・ 慶雲院	30,000円
・ 定泰寺	20,000円
・ 遍照寺	20,000円
・ 宝幢寺	10,000円
・ 玄光寺	10,000円
・ 萬福寺	10,000円
・ 壽昌寺	10,000円
・ 養性寺	10,000円
・ 勝蔵院	10,000円
・ 聖徳寺	10,000円
・ 東耀寺	10,000円
・ 金剛院	10,000円

鷲宮

・ 光厳寺	10,000円
・ 薬王院	10,000円
・ 広福院	10,000円

杉戸

・ 源長寺	50,000円
・ 正明寺	30,000円
・ 酬恩社教会	30,000円
・ 大徳寺	30,000円
・ 延命院	20,000円
・ 来迎院	20,000円
・ 全長寺	20,000円
・ 天然寺	10,000円
・ 無量院	10,000円
・ 永福寺	10,000円
・ 馬頭院	10,000円
・ 延命寺	5,000円
・ 松栄寺	5,000円
・ 松田寺	5,000円
・ 宗泉寺	5,000円

松伏

・ 松伏町仏教会	130,000円
----------	----------

吉川

・ 観龍院	50,000円
-------	---------

三郷

・ 光福院	50,000円
・ 興禅寺	10,000円

八潮

・ 観音寺	80,000円
・ 立正寺	50,000円
・ 西蓮寺	50,000円
・ 普門寺	30,000円
・ 普門院	30,000円
・ 大経寺	30,000円
・ 医薬寺	30,000円
・ 蓮台寺	10,000円
・ 宝幢寺	10,000円

越谷

・ 観音寺	100,000円
・ 観照院	100,000円
・ 天獄寺	70,000円
・ 林西寺	50,000円
・ 大聖寺	50,000円
・ 持福院	50,000円
・ 浄光寺	50,000円
・ 弘福院	50,000円
・ 報土院	50,000円
・ 宝正院	50,000円
・ 浄音寺	50,000円
・ 西教院	30,000円
・ 法光寺	30,000円
・ 玉泉院	30,000円

光明院

・ 光明院	30,000円
・ 光善寺	20,000円
・ 宝性寺	10,000円
・ 成就院	10,000円
・ 大林寺	10,000円

春日部

・ 春日部市佛教会	30,000円
・ 無量院	10,000円

葛蒲

・ 長福寺	10,000円
-------	---------

白岡

・ 寿楽院	10,000円
・ 青雲寺	10,000円
・ 観福寺	10,000円

蓮田

・ 平源寺	10,000円
・ 星久院	5,000円

岩槻

・ 金剛院	100,000円
・ 満蔵寺	46,400円
・ 西福寺	30,000円
・ 彌勒密寺	20,000円
・ 大光寺	20,000円
・ 慈恩寺	10,000円
・ 浄音寺	10,000円
・ 法華寺	10,000円
・ 芳林寺	10,000円
・ 勝軍寺	10,000円
・ 光秀寺	5,000円
・ 福厳寺	5,000円

総務省・経済産業省よりお知らせ

平成24年経済センサスー活動調査の実施について（依頼）

日頃より政府が実施する各種統計調査に御理解を賜り、厚く御礼申し上げます。また、この度の東日本大震災により被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

この度政府では、平成24年2月に全ての企業・事業所を対象とした「経済センサスー活動調査」を総務省・経済産業省が中心となって実施いたします。

経済センサスー活動調査は、我が国における産業構造を包括的にとらえ、実態を明らかにすることを目的とする政府の重要な調査であり、統計法（平成19年法律第53号）に基づいた報告義務のある調査（基幹統計調査）として実施いたします。

その調査結果は、各種行政施策や学術研究の基礎資料としての利活用にとどまらず、経営の参考資料として事業者の方々にも広く活用していただくことを目指しております。

つきましては、震災の影響等により御多忙を極めておられることと存じますが、調査の趣旨、必要性を御理解いただきますようお願い申し上げますとともに、貴団体が発行される機関誌（紙）への記事、広告の掲載を通じまして、傘下の方々へ周知いただきますようお願い申し上げます。

なお、支社等を有する企業本社の方々には、調査票の送付（平成24年1月）に先立ち、23年6月中旬以降に事業所等の事業内容や調査票の回答方法などを確認することにしておりますので、併せて御配慮いただきますようお願い申し上げます。

平成23年6月10日

総務省統計局長

経済産業省経済産業政策局調査統計部長

お問い合わせ先

経済産業省調査統計部構造統計室

電話：03-3501-1511（内線2881）

東松山・滑川仏教会主催 第17回仏教講演会

『木のいのち 木のころ』

日時 平成23年11月24日（木） 開場 13:00 開演 14:00 終演 16:00

会場 東松山市民文化センター

（埼玉県東松山市六軒町5番地2 / ☎0493-24-2011）

講師 寺社建築鳩工舎（いかるがこうしゃ） 舎主 小川 三夫棟梁

参加費 おひとり 1,000円 ※要お申込み

（参加費の一部は社会福祉事業・東日本大震災義援金とさせていただきます）

お申込 妙昌寺…電話0493-34-3042（東松山市神戸1121）

計報

謹んでお悔やみ申し上げます。

平成22年8月

26日 越生町龍隠寺(曹洞)

小林 卓苗 師(77歳)

平成23年3月

29日 本庄市眞福寺(曹洞)

新井 順二 師(86歳)

4月

10日 深谷市延命寺(高野)

日野 真應 師(84歳)

15日 行田市高源寺(円覚)

岩佐 宗貴 師(58歳)

5月

5日 越生町醫王寺(智山)

荻野 隆政 師(89歳)

27日 加須市如休寺(智山)

浅原 寂淳 師(96歳)

6月

7日 三郷市玉蔵院(豊山)

中村 孝純 師(72歳)

9日 羽生市源長寺(曹洞)

神場 春海 師(76歳)

7月

1日 羽生市文殊院(霊雲)

坂入 遜常 師(77歳)

事務局日誌

平成23年(2011年)

4月

5日 ▼「埼玉宗連」第1回理事会

(埼玉会館)

6日 ▼「埼玉佛保」第1回理事会

(埼玉会館)

7日 ▼「埼玉同宗連」第1回役員会(埼玉会館)

会(萩野映明会長・事務局)

14日 ▼上尾市仏教会顧問会講演

会(萩野映明会長・事務局)

28日 ▼埼玉佛青「写仏」

5月

14日 ▼部落解放同盟埼玉県連合

会定期大会(東松山)

16日 ▼県佛監査会／一般財団法人

人移行準備委員会／第1回

執行部会

19日 ▼埼玉佛青「写仏」

25日 ▼第1回理事会／評議員会

27日 ▼「埼玉同宗連」第2回役員会

7月

1日 ▼部落解放・人権政策制定

要求実行委員会(ときわ会館)

30日 ▼「全仏」理事会・評議員

会(31日・萩野映明会長)

6月

1日 ▼「埼玉佛保」定期総会／春

季研修会／開催協力・全青

協

8日 ▼県佛大会打合せ(岩槻)

9日 ▼「埼玉同宗連」総会／研

修会

13日 ▼「埼玉宗連」役員会／宗教

講演会

16日 ▼妻沼聖天山歓喜院本殿修

理竣功慶讃報恩法会(萩野

映明会長・事務局)

17日 ▼埼玉佛青「写仏」

23日 ▼飯能地区仏教会奉詠大会

29日 ▼県佛大会前日準備会(岩

槻)

30日 ▼第33回埼玉県佛教徒大会

(さいたま市民会館いわつき) 東日本大震災を受け3月25日から延期。

7月

1日 ▼公益法人実務研修会(大

宮)

2日 ▼「埼玉宗連」平和の祈り(川

越カトリック教会)

5日 ▼埼玉佛青「写仏」

19日 ▼一般財団法人移行準備委

員会／執行部会

27日 ▼埼玉佛保「夏季宿泊研修

会」(山梨県・石和温泉)

28日)

編集後記

日本人の良いところは、困った時にお互いを助け合う心を持っていること。節電に熱中的になり、熱中症になってはいけません。熱中するのも程々に：

(鯉)